

サイジナル

月刊
24-7・8
第404号

日本サイ科学会 平成24年7月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908 FAX 022 (274) 0097	中 部 〒503-0981 大垣市松町1290 山 田 哲 三 ☎ FAX 0584 (91) 1192	北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	関 西 〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39 木 村 のり子 ☎ FAX 0797 (22) 6425	九 州 〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7 金 子 輝 夫
--	---	---	---	---

七月本部例会のお知らせ

水と珪素の集団リズムム力

講師 中島敏樹

水は、数千個から数億個の集団を構成。集団の秩序(リズムム力)と活力(電気エネルギー)で、魅惑的な仕事を成し遂げている。現代科学が置き忘れた「水の集団の神秘的突然変異機能」の話です。水集団の調律リズムム力が、命の場を為している。その秩序と活力の助っ人が、土や岩石の素、珪素の大事な特性『表面陰電荷力』です。命の素「寄り集い群れて輪す」は、東日本大震災で人々の心に灯された『絆』そのものです。宇宙に顕在化した「もの」の始まりです。

いのちは、水の二大特性『双極子特性』『水素結合』と珪素の『親水力』に支えられています。水は宇宙と同じ階層構造を成している。水のリズムム力に影響を与える人の意念、感謝・祈り、そして音響リズムムを水に映し測りました。何と

未確認物質「気」の関与が、透けて見えてきました。人々の関心が高い「珪酸コロイド粒子の表面陰電荷作用」、「低線量放射線ホルミシス作用」、「生体内原子転換の現実」などの神秘例を挙げ、科学の紐を解いてみます。

※水の不思議な性質と今まで知られていないパワーを分かりやすく解説していただきます。会員の皆様は是非ご友人、知人をお誘いして御参加ください。

●中島敏樹氏のプロフィール
なかしまとしき
昭和16年生まれ石川県出身。平成12年〜23年 東洋化学株式会社技術顧問。

水の分析器アクアアナライザと出会い、「水の集団リズムム力」の解明に取り組む。水集団の新たな振動領域(500〜4000キロヘルツ)を世界に先駆け明らかにした。気、想念、音響など微弱エネルギーをも水で測った。『場のエネルギー』の確かな関わりを、水が語りかけてくれました。水の神秘的な統合科学に一石を投じている。

日時 平成24年7月14日(土)

午後1時半〜5時

会場 北とびあ7階701会議室
交通 JR京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

今月号の記事

- ◎七月本部例会のお知らせ
- ◎第22回全国大会研究発表募集
- ◎御寄付御礼
- ◎関西サイ科学会七月例会予告
- ◎第16回宇宙生命研究分科会予告
- ◎九月本部例会予告
- ◎二月本部例会報告
- ◎第三六六回関西サイ科学会報告
- ◎第三六七回関西サイ科学会報告
- ◎関英男先生関連書籍の販売
- ◎サイ(気)の応用と実用化

※8月は本部例会は休会となりま
す。九月本部例会予告は次頁に
掲載されております。

平成24年日本サイ科学会 第22回全国大会発表募集

毎年重要な行事である全国大会が、今年も10月14日(日)北とぴあ第一研修室にて、開催されます。会員の研究発表、シンポジウム(テーマは「コンタクト」)が予定されておりませんが、会員の皆様には積極的な発表ご参加を期待しております。

これまでの研究での新しい発見、現在もしくは近いうちにデータ取りをしてまとめたいこと、偶発現象(UFO、心霊現象等)の目撃と原因の推測・解明、様々なサイ現象の仮説(理論)など「サイ」に関連することなら何でも結構です。ので、ご自分の考えや研究成果をまとめて、発表して頂きたいと存じます。

8月末までにタイトルと簡単な内容(2000字くらい)をメール、またはFAX、ハガキでお送りいただき、一応審査させていただきます。通りましたら9月20日までに原稿ファイルをメール添付等で戴きたいと思います。原稿の書式は後でお知らせ致します。

「心を科学する博物館」と
一般の御寄付御礼
(5/25受領分まで)

金六万円也	木村 陽一 様
金五万円	吉田 一美 様
金一千元	小林 信正 様
金一千元	山田 真理 様
金一千元	信太 民久 様

関西日本サイ科学会
七月例会のお知らせ

誰でもが幸せになる
プラチナの風が吹く

講師 重川 風天氏

日時 平成24年7月21日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員二千元 一般三千元

学生一千元

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

第16回宇宙生命研究分科会

第6回 UFO・オーブシン
ポジウム

コンタクト準備!

日時 平成24年7月29日(日)

10時～17時30分

会場 品川健康センター会議室

(品川区北品川3・11・22)

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

JR京浜東北線大井町駅東

口から東急バス渋谷駅行で

「新馬場駅前」下車

一般会費 五〇〇円

会員会費 一〇〇円(日本サイ科

学会・サトルエネルギー学会・

太陽の会・国際問題研究会)

※会員以外の方の参加も大歓迎

今回もUFO・オーブ賞ならびにマジナル・サイエンス賞が授与されます!

われこそはという方のチャレンジ、お待ちしております。

(世話人 阿久津淳)

九月本部例会予告

未曾有の天災・人災を目の当たりにして、サイ科学は何ができるのか!?

講師 ホンマシユウジ氏

(株式会社ビジョンプラス

エグゼクティブ・プロデューサー)

◎ゲスト講演

井戸 理恵子氏

(多摩美術大学講師・民俗情報工学研究)

昨年(2011年)の東日本大震災の発生により、これまで想定していなかった規模の大地震、大津波が実は、頻繁に日本列島を襲っていた歴史があったことが明らかになりました。

地震学者がこれまで黙殺していた歴史的記述や口伝の重要性が再認識されることとなりました。被災の中心地・石巻市出身の筆者は、今回、奈良時代から貞観期、鎌倉時代初頭にかけて、石巻を中心とした歴史的出来事と大災害の因果関係に着目して調査を行ったところ、数多くの神社仏閣が大震災と

の関連において創建されたという事実には遭遇しました。

神仏のルーツや地域信仰をつなぎ合わせるにより、日本人と自然災害との関係を考察します。

※中国や日本における超能力者や超能力少年少女達の取材、検証番組を沢山制作してこられたホンマ氏が、今回の東日本大震災に際して、出身の地震・津波被災地の地道な取材と調査をされた内容を、被災地の映像も含めているいろいろな観点から問題意識をもって、お話をされます。

ゲストの井戸氏もそれらに対して研究者・能力者の観点から、貴重なお話が聞ける希な機会ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして是非ご参加ください。

●ホンマシユウジ氏のプロフィール
宮城県石巻市生まれ。CMプランナー、CMディレクター、番組ディレクター、番組プロデューサーを経て、現在マルチメディアプロデューサー。自然ドキュメンタリー、歴史の謎・人間の不思議な潜在能力の謎をテーマにしてノンフィクションシリーズ作品など数多

く手がける。現在、日中韓共同制作による「大型ドラマ」企画と「東アジア・情報バラエティー」の準備に奔走中。

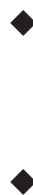
主な作品：TBS「ギミアぶれいく」「プレゼンター」未知能力シリーズ、「アニメ・ムンデイ」、「世界謎紀行・神々のいたずら」シリーズ、「自然ドキュメンタリー・神々の詩」シリーズ、TBS 50周年SP「地雷ZERO 21世紀最初の祈り」、「Mrマリック・超魔術の逆襲シリーズ」、NHK・BSスペース「バチカン外交」ヨハネ・パウロ2世と冷戦後の世界、「日テレ」スーパーテレビ情報最前線（サイババほか）、「木曜スペシャル・Mrマリック・超魔術」、BS11「第2ニッポン国・独立宣言」ほか著作：「未知能力ーあなたの知らない不思議世界」（青春出版）、「カメラがとらえた人間の不思議な力99の謎」（二見書房）、「ワールドミステリー・ツアー・アジア編・中国怪奇譚」（角川書店）日本サイ科学会理事・日本人体科学会学術会員

日時 平成24年9月8日（土）

午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室
交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端（赤羽寄り）の階段を下り改札口を出て見える高層ビル
会費 会員二千元 一般三千元
学生一千元



二月本部例会報告

サイ科学に関係した電気・磁気の研究の紹介

講師 小林 正典氏
(茨城大学)

最初にトマトの種子の潜在能力についてお話させていただきました。これは一万数千個の実を成らせたトマトの巨木です。遺伝子操作とかホルモン処理は全然行っておりません。露地栽培のトマトの種子と全く同じ種子を使って、トマトの持っている能力を引き出した結果、一本のトマトの木に一万数千個の実を成らすことができた技術がございます。

この技術は1985年のつくば万博の政府館において、展示されました。こういうものに私は非常に興味を持ちまして、いろいろな実験を進めて参りました。この「ハイポニカ」という製品も購入してトマトを実際に成らす実験もして参りました。

この一万数千個の実を成らすトマトの潜在能力の根源は、ここにある根なのです。根がものすごい活力があつて、生き生きとしています。その根が直接接している水は常に流れているのですが、その水には酸素を供給しているのが一つのポイントとしてあり、それに温度コントロールと太陽光をコントロールして実現した技術です。

通常メロンは一本の木に一個しか成らないので、お値段が高いのですが、この写真の木は90個の実が成っております。このキュウリは一本の木に、三千三百本の実が成っております。

これは種子の中にこれだけの実を成らすことのできる潜在能力が元々宿つているということですね。それを出来る範囲内で取り出してやろうというふう考えたのです。これは協和株式会社野澤重

雄氏が「ハイポニカ」という商品名で開発したものです。野澤氏は残念ながら2001年に亡くなられましたが、1960年代からだいたい22年間で23億円のお金を使って開発した技術でした。

私もいろいろな高校に呼ばれて出前授業をしておりますが、今ご紹介したようなお話をするわけです。そして高校生に「元々一人一人がそれだけの能力を持っているのだから、それを自分自身で引き出してみようよ。」そして「根というものが非常に大きな根源になっている」ということで、根に相当するものが学校の教育すべてだよ。」というお話をして、一応感激してもらっていました。

地球上に生きているものにとつて、地球の環境というのは、生存に無視できないものであるというのは、当然のことです。その一つとして、「シューマン共振」というものがございます。「サイ科学」に掲載されているいろいろな論文や資料の中に、「シューマン共振」というものが頻繁に出て来ているのを私も存じております。

今日はそのシューマン共振、す

なわち7・8ヘルツという基本周波数とそれのだいたい整数倍の14ヘルツとか、21ヘルツなどの電磁場が地球と電離層との間に存在していて、生命に影響を与えていること、また地磁気に関係するお話を致します。約40億年前に地球上に生命が誕生してから、今日までの進化の過程で何らかの影響を地磁気とシューマン共振から受けてきたはずと考えると、生き物にとつて最適な磁場環境が必ずあるはずだと発想しました。

論文ではこの地磁気とシューマン共振に関係したミツバの種子の実験を進めて参りました。そして私が考えたのは、先ほどのハイポニカトマトの技術の根本的な考え方として、トマトにそういう潜在能力があるということから、電子電気工学に携わっております私としましては、磁場として周波数7ヘルツに着目して、研究を進めて参りました。

最近の新聞記事で「サイエンス」の論文として、地球の外殻が二層構造になっておりマントルが別々に対流していて、それらが混ざり合うと磁場の反転が起こるのではないか、と載っております。地

球はこの四百万年間に9回くらい磁場の反転が起こっております。

私はこの説が出る前に計算していたことがありまして、地球の赤道断面上の外殻の中央円形リングに、東から西に向かって30億アンペアの電流を流すと、だいたい地磁気を再現することができました。すなわち地磁気というのは、地球の中に電流が流れていることから生じます、その電流は外殻の液体状になっていている鉄の中のイオンの動きによってつくられているということでした。

落雷のときによくラジオに雑音が入りますが、そのときいろいろな周波数の電磁波が同時に発生していて、光速の30万キロメートルを地球の周囲4万キロメートルの波長で割りますと、シューマン共振に近い7・5ヘルツとなります。

地球の100キロメートル上空に電離層がありまして、その電離層は導体で、地球表面も海が大部分なので導体であって、その二層の間から電磁波は逃げる事ができません。落雷等で発生した電磁波の内、波長が地球周囲と同じ長さの電磁波(周波数7・5ヘルツ)だけはその二層の間で共振します。

他の周波数の電磁波は山谷がぶつかって消えていきます。

私はそのシューマン共振に近い、「ラッキー7」の7ヘルツに着目して、実験を進めました。7ヘルツの弱磁場を使ったのですが、弱磁場というのは地球の地磁気約50マイクロテスラの15倍位のもので、その成果が世界的にこういう方面の研究者が投稿する学会誌の「Bioelectromagnetics」に掲載されました。

シャーレの中に濾紙を三枚引きまして、ミツバの細長い種子を50粒、ピンセットで一粒ずつがくを南側に向けて南北方向に並べます。それらに2つの方向から弱磁場をかけたときに次の有意な結果が出ました。

「Bioelectromagnetics」の論文で、

発表したことを要約致します。

・地磁気の鉛直方向に

周波数7ヘルツ、磁束密度750

マイクロテスラ

周波数14ヘルツ、磁束密度500

マイクロテスラ

のAC磁場を印加した場合にはミ

ツバの種子の発芽を促進させる

・地磁気の向きに並行に

周波数7ヘルツで磁束密度750マイクログテスラと磁束密度500マイクログテスラの微弱な磁場を印加した方が、垂直に印加した場合よりはミツバの種子の発芽を促進させる

「サイ科学」掲載論文を紹介させていただきます。

この実験では水が非常に大事なものになりますが、水は分からないことも沢山ありますし、水はすべての物質を溶かしてしまうので、非常に実験が難しい代物です。ところが水というものは、非常に生命活動にとってなくてはならない物でして、タンパク質や核酸、そういう生体高分子の細胞がうまく働いているかどうかなど、水はそれらをコントロールしているといわれております。

人間の意思が水に変化を与え得るという論文もありますし、また水が情報を蓄える能力：ホメオパシーでの体験、気功のエネルギーやヒーラーのヒーリングパワーなどの微弱エネルギーを与えたときの水の変化を扱った論文もあります。

また水には「エピタキシー」と

いう仕組みが働き、元の実体が無くなって、その本質を記憶している、いろいろな操作をするということがあります。エピタキシー(Epitaxy)は、半導体関係でよく使われるのですが、「一定の結晶面上に別種(あるいは同種)の単結晶が結晶方位を揃えて成長していく現象」、あるいは「半導体結晶板上などに、そうした単結晶膜を成長させる技術」で使われる言葉です。



また、微弱エネルギーの存在を認めて、その橋渡しをしているものとして「ベクトル磁気ポテンシャル」があるのではないかという論文もあります。

その微弱エネルギーを水に与えるその影響を実験するとき、精製

水(純水)の場合には微弱エネルギーの注入が難しく、イオンやミネラルなど若干の不純物の存在が必要だという論文もあります。今回の私達の実験でもそういうことが出て来ました。

水を扱う場合、熱エネルギー以外のエネルギー、たとえば光、電気、磁気あるいはこれらが相互に絡み合った場合などは、何が起るかは、やってみないと分からないのが実状だという論文もあります。

最近、AC磁場の「零磁場」が目ざされ、植物の初期成長に与える影響などが研究されています。そのとき成果が出ているのですが、地磁気というDC磁場は打ち消さないで、AC磁場を打ち消した実験となります。その零磁場は、テスラコイルや、8ヘルツの単一パルス波、複合サイン波(10の6乗ヘルツ位)などを、渦巻き型の無誘導コイルに流してつくりまします。そこから発生する「人工外気」を稲の種に直接暴露した場合には、根と苗の成長30%〜50%の成長促進効果が認められた、また人工外気を直接稲の種に直接暴露しないで、予め水に暴露処理した人工外

気水に稲種を浸した場合にも、ほぼ同一の効果が得られた、という論文発表があります。この結果は水には人工外気という情報を記憶する潜在的な能力があるといえます。

そういうことで、今回はミツバの種子の発芽というものに水の性質をうまく利用して、何か変化があることのメカニズムの背景の究明が出来るのではないかと考えて、実験を進めたわけです。

ミツバの種子に毎日給水する水のみ磁場を印加した場合と、発芽実験時の種子にも磁場を印加する、両方の場合を実験しました。その他に地磁気を打ち消す実験も行いました。

前者の場合の実験は、上述したように水が情報を記憶することをチェックする実験と考えられます。それから蒸留水と水道水の比較実験もしました。「サイ科学」の論文の中でも紹介されておりますように、やはり蒸留水ではなくて水道水の方がいろいろな情報やパワーを加えやすいといえると思います。またイオンサイクロトロン共鳴の効果を明らかにするために、地

磁気を打ち消した場合と地磁気環境下の場合の両方を実験しました。印加磁場の周波数はシューマン共振の基本周波数に近い7ヘルツ、磁束密度は地磁気のオーダーとなり先の論文の約10分の1の75マイクロテスラの微弱なAC磁場を使用しました。地磁気を打ち消した場合にAC磁場を印加した場合の実験は、DC磁場の零磁場の環境下での水の情報(本論文ではAC磁場)の記憶に関する実験となります。ミツバの種子に水は16日間、毎日5CCずつ加えました。

実験のまとめと検証をします。

ミツバの種子に毎日給水する水の中に磁場を印加した場合と、発芽実験時のミツバの種子にも磁場を印加する両方の場合を実験しました。

種子に加える水は、水道水と蒸留水の2種類で行いました。また地磁気を打ち消した場合と地磁気環境下の場合の両方の場合で実験しました。

発芽時の給水に用いる水道水を周波数7ヘルツ、磁束密度75の磁場で磁場処理するときの地磁気の有無により、地磁気有りでは発芽

が促進され、地磁気無しでは発芽が抑制されました。

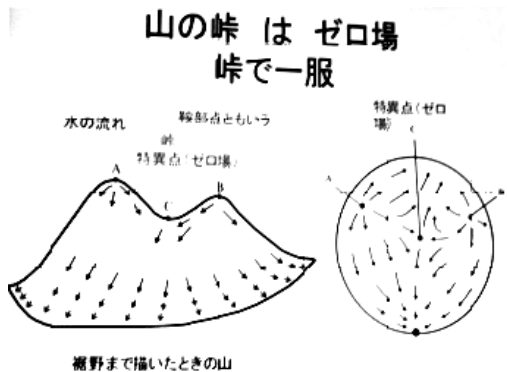
両者とも1検定で危険率5%以下の有意差が認められ、前者は後者より、発芽促進増加率が約10%も高くなりました。水道水の場合の発芽は、発芽時の磁場の環境にはほとんど左右されずに、水の磁場処理の方法でほぼ決まり、ミツバの種子の発芽促進の作用は、発芽時の生化学反応に印加磁場が直接作用するのではなくて、水の性質に影響を与えることを介して作用すると推察されました。

水の磁場処理の際の地磁気の有無が水道水と蒸留水との発芽特性において大きく異なりました。水道水において、AC磁場を情報とした「水の記憶」が認められたといえます。

これは、水道水は種々のミネラルを含有しており、電気伝導に寄与する各種イオンが蒸留水に比べてそれだけ多いことを意味します。水の磁場処理の際に、含有されているイオンの量の違いにより、磁場処理後の水の性質に差が生じたと考えられます。すなわち、水に情報を記憶させる場合は、若干の不純物の存在が必要なことが、改

めて確認されました。

2011年度「サイ科学」発表2編目の論文タイトルは「ゼロ場と特異等ポテンシャル線の図形の性質」で、サイ科学の分野での超常現象のゼロ磁場に関連した論文となります。



地図上の山を比較に使いますと、等高線が電位が等しい等電位線にあたり、等電位線が混んでいるところは電場が大きいとみえます。図のAとBという+の電荷が2つあり、高さが違うので、電位も少し差があります。地図ですと海拔0

mの高さが、電気の分野では0Vにあたり、そこからの電位差が、山でいうと海からの高さとなります。図のAとBから来る+電荷のエネルギーがぶつかるのが、Cという点です。「零磁場」というのはこういう点で、地図でいうと峠にあたり、真つ平らというより、馬の鞍のようになります。Cという点は電場が0の特異点となります。その特異点であるゼロ場の点を通る等電位線を私は「特異等電位線」と名付けました。この「特異等電位線」は非常に均衡のとれた美しい図形を生み出します(「サイ科学」第33巻に多くの図を掲載)。

この美しい図形というのが、実はサイ科学における零磁場が癒し効果を生み出すことにもつながるのではないかと考えられます。また均衡が取れた状態から、「カタストロフィ」や「フラクタル」等の現象も生じてきます。

※後半は小林氏がダウジングの器具(レヨテスト)を使って、会場に参加者や持って来られた多数の品の周波数を測定して、会場が盛り上がりました。



第三百六十六回関西日本サイ科学会研究集会報告

出口王仁三郎の遺言

講師 櫻井 喜美夫氏

とき 平成24年3月17日(土)
ところ 大阪科学技術センター

櫻井氏は昭和22年10月12日生まれ。櫻井氏の名付け親は、大本教の出口師である。また、出口師の本名は上田喜三郎であるが、名前を訓読みで読むと「きみお」とも読める。訓読みの名前を櫻井氏に与え、すぐ危篤になり3ヶ月後に亡くなる。出口師の願いは、宗教がなくなり、世界が愛のある世界になることであった。

出口師が櫻井氏にして欲しいことは何かを探求し、そして、そのことが『出口王仁三郎の遺言』として結実していった。
著書『出口王仁三郎の遺言』太陽出版

「霊界物語」全83冊を著した出口王仁三郎氏は、単に一宗教家と

いう枠にはまることのない器の大きさで、天地剖判、太古の神々の歴史はもとより、霊界の構造、祭式、言霊学などの霊的な世界から、政治、経済、教育、医療、健康、食事、芸術など多岐にわたった現実世界の理想的なあり方についても言及している。

龍の形をした日本イラスト説明「龍の形をした日本」



日本列島はイラストのように龍の形をしています。九州が頭、北海道がしっぽです。

奄美大島も入っている今の沖縄にはストレスが溜まっています。ドラゴンの珠・沖繩が光らないと日本は光りません。沖繩が変われば日本が変わります。淡路島、沖

繩は日本の大事な場所つまり人間でいうところの経穴すなわちツボにあたります。霊的なスポットで龍の穴です。

王仁三郎が望んだ「スの神」の顕現

王仁三郎のスケールの大きさは、「神」の捉え方にも見て取れます。宇宙の本源であるまことの神を「主(ス)の神」と呼んでいます。

スの神は、古事記では国之常神、日本書記では国常立尊のことです。宇宙の創造神でもあり、イザナギノミコトやイザナミノミコトの産みの親にあたります。

また、聖師は同年3月、「日本の神社に祭つてある神様は昔の英雄で死神死仏ばかりで、キリスト

教のゴッド即ち不老不死の生神を祭つてあるところは一ヶ所もない」とも述べています。

つまり、第二次大本事件の根本原因は、天皇を神として崇めた国家神道ではなく、スの神を祀っていたからで、スの神こそがまことの神であり、スの神に帰れというのが聖師の一貫した主張だったわけです。

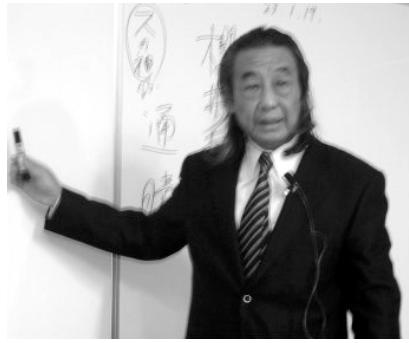
以上のことから、人間を神格化したり、偶像崇拜による従来の宗教に終止符を打ち、宇宙創造の神、スの神の顕現によって世界平和に寄与することが、日本人全体に対する王仁三郎聖師の遺言であることがわかりただけかと思えます。

日本は世界の雛型
イラスト説明「日本の地形と世界の地形の相似性」

王仁三郎は、日本は世界の雛型だといいました。これは、地形にも現れていて、日本の地形と世界の地形が相似形であることから、同じパターンの現象が起きることを意味しています。

日本列島が五つの島からなるよ

うに、世界は五大州からなつていて、その形状もそっくりです（イラスト参照）。九州はアフリカに、四国は豪州に、北海道は北米に、台湾は南米に、本州はユーラシア大陸にそれぞれ相当しています。



さらに細かく見れば、紀伊半島はアラビアに、琵琶湖はカスピ海に、大阪湾は黒海に、伊勢の海はアラビア海に、駿河湾はベンガル湾に、津軽海峡はベーリング海峡に、土佐湾はオーストラリア湾に、能登半島はスカンジナビアの半島に、瀬戸内海は地中海に、関門海峡はジブラルタル海峡に相当します。

王仁三郎は、霊的な視点で見たら、大本で起こることは日本で起

き、日本で起こることは世界で起こるといい、これを3段の仕組みといいました。



霊的な経緯のプログラムから見ると、現在は日本の立替え・立直しの時期に当たります。

日本が新たな立替え・立直しを行うことで、世界の立替え・立直しにつながるのです。

私たちは、「一人では何もできない」と思ったり、困難な状況に見舞われると不安や怖れなどのマ

イナスの感情に浸りがちです。しかし、始に述べたように日本列島を強い生命力を持った大きな龍だと考えてみればどうでしょう？

私たちは一人ひとりが、龍体の一枚の鱗であり、細胞です。そう考えれば、「自分もこの素晴らしい日本国の一員なのだ」という自覚と希望が湧いてきます。

宇宙の中心(COU)との一体化

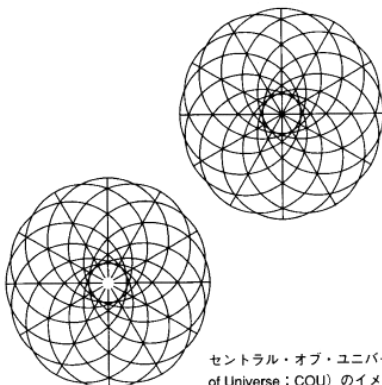
私は自分で開発した「オーロラX36」をサポーター役として、宇宙の中心に意識をチューニングしていきました。人間は神の分霊である以上、宇宙創造の神は必ず自分の魂の奥底に存在しています。その意味で、宇宙神との一体化はインナートリップともいえるでしょう。

私は何度かそれをくり返しているうちに、意識(エネルギー体)が猛烈なスピードで宇宙の中心に向けて進んでいくのがわかりました。宇宙の中心に近づくと、黄金の光の中に、緑色、赤色、薄い虹色が放射状に見え、とりわけ緑色や赤色の小さな球が私の方に向かって流れ飛んでくるようでした。

その周囲は黄金色で、流れ飛んでくる光からは、嬉しさや喜び、愛を感じました。

そして、さらにその光源の元(中心点)の奥に進んで行くと、そこには無限大のような純白の世界が広がっていました。そこには光も何もなく、ただただ透明に近い純白の無限大の世界で「無」や「空」という表現で現すしかない、とても不思議な世界です。

イラスト説明「COUのイメージ」(イラストはその時のイメージです)



セントラル・オブ・ユニバース (Central of Universe : COU) のイメージ。

これが王仁三郎のいうスの神の次元……。

私は、この宇宙神の懐(中心)を「センター・オブ・ユニバース(Center of Universe: COU)」と呼ぶことにしました。

このCOUとの一体化を経験した直後、私の身体に奇跡が起きた。全身のひどい皮膚病が嘘のように改善し、日ごとに元の状態に戻りだしたのです。

宇宙神と一体化すれば魂の岩戸は開く

宇宙神、内なる神と一体化する体験を通して私は一つの確信を得ました。それは、松果体を発光させて宇宙神と一体化することができれば誰でも魂の岩戸が開く、すなわち意識が覚醒し、宇宙(神)意識に至れるという確信です。これが王仁三郎のいった「一厘の仕組み」ではないでしょうか。

すなわち、「一厘の仕組み」とは、最も困難状況に置かれた状況の中で、一人でも多くの人が神と一体化し、覚醒した意識によって新たなみろくの世(水瓶座時代)を開いてそして、人びとの覚醒のスイ

ッチをオンにするための、最後で最大の試練が惑星X(ニビル)の到来である。なぜなら、困難な状況の中でこそ覚醒のスイッチがオンになり、そこで各自が神と一体化できれば、宗教不要の世界平和や愛善に基づく理想社会を築くことができるからです。

意識の覚醒とは、魂のふるさである無条件の愛、すなわち神意識に立ち還ることです。大いなる光への帰還といってもいいかもしれません。

宇宙神、内なる神と一体化した状態は無量大の純白です。

高波動のテラヘルツ波を放射する石がやってきた

ひとが鉱石を選ぶように、鉱石も人間を選んでくれるようです。

私の場合も、とくに神との一体化を経験した2010年の終わりの頃からそのような鉱石たちが立て続けに集まってくるようになりました。そんな中、驚くべきことが判明しました。それらの鉱石から、「生命そのもの」といわれる特殊な生命光線が放射されていることがわかったのです。

それは「テラヘルツ波」と呼ば

れる放射線です。テラヘルツ波とは、光と電波の境界領域(両方の性質を持つている)にある電磁波で、周波数が10の12乗ヘルツ(1テラヘルツ)という領域にあることに由来します。これは1秒間に1兆回振動する高周波数です。

テラヘルツ波は、情報通信・生命・医療・安全・健康・産業・環境・宇宙・科学など幅広い分野での展開が期待され、次世代のキーテクノロジとして熱い注目を浴びています。

また、テラヘルツ波は人体からも放射されていて、最も多いのは子どもで、ヒーラーなども高い数値を示していることから、癒しや蘇生効果があると考えられます。要するに、テラヘルツ波は生命エネルギーそのものともいえ、非常に高い波動を持っているのです。このテラヘルツ波に関する研究は世界でも日本が一番進んでいます。

みろくの世の岩戸開きは一人ひとりに委ねられている

世界中の予言が、とくに日月神示や、大本系の予言は警告を発し、注意を促しています。

「私一人くらいがさぼってもいいじゃないの……」という人がいるかもしれませんが。しかし、そんなことはありません。すべての存在はつながっている以上、一人の意識は全体に影響を及ぼし、全体は一人に影響を与えているのです。

極論に聞こえるかもしれませんが、一人の人間が怒りや憎しみの感情を抱いていると、地球全体に苦痛を与えてしまうことになるのです。その意味で、地球が混沌としているのは、私たち人間の責任です。であるならば、一人ひとりが悪想念を出さないように改心し、神の分霊としての意識を目覚めさせる必要があります。

混迷する世の中であって、高い波動、精妙な心を維持するのは容易なことではないかもしれません。しかしだからこそ、意識の覚醒が求められているのであって、「人生は修行」といわれるのです。

肩に力を入れすぎないで、慌てず、そして内省しながら内なる神と対話しましょう。あなたと宇宙の光が融合して霊止(ヒト)となり、無限の力を発揮する。そう、王仁三郎も断言しています。「すべての宗教の根源は一つの

神であり、万教は同根である」、であるがゆえに、「神とともに生き、働き、楽しむ愛善世界の実現は人類の使命である」。

愛善とは、すべてを生かしている主神(宇宙神)の愛であり、我よし(エゴイズム)を去り、強いもの勝ちを改める調和の心であり、人びとがこのようなきれいな身魂で生きる世界が「みろくの世」です。

それが、来るべき惑星X(ニビル)の接近による被害を少しでも軽くすることにつながると思いますが。

神の分霊としての自覚が持てない人は、「良心」と置き換えてみてはいかがでしょうか。良心を発動させることが本当の自分を生きることに、すなわち魂の岩戸開きです。

みろくの世の扉を開くことができるかどうか、それはあなた自身に委ねられています。

☆ ☆

出口王仁三郎氏にまつわる話から現在の問題、これからの進め方それは各目の魂(良心)の岩戸開きであることを聞かせて頂いた。

近々「コスモドラゴンの大降臨」

の著書もだされるとのことで期待しています。

当日の参加者は会員19名、非会員52名、合計71名でした。今回のカセットテープは2000円、御注文は事務局(0797・22・6425)まで

(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)

第三百六十七回関西日本サイ科学会研究集会報告

水のはなし 活性水・機能水とは、その生体への作用、水のつくことばなど

講師 久保田 昌治氏

とき 平成24年4月21日(土)
ところ 大阪科学技術センター

久保田氏は1936年生。新潟県出身。理学博士。東北大学理学部卒、1962年同大学院理学研究科修士課程修了。東北大学助手、静岡大学工学部講師、日立研

究所主任研究員。(財)造水促進センター国の水関連プロジェクトなど。

著書「水のはなし」、「水の再発見」、「水の百科事典」編集・執筆(丸善)、「浄水器・天然水の選び方」、「これでわかる水の基礎知識」、「よみがえる水の不思議」ほか多数

水は水分子同士がばらばらならば、マイナス80度で沸騰するはずだが、実際にはクラスター(塊)を作っているので沸騰温度は100度である。クラスターの大きさは活性水、機能水に関係し、冷水よりお湯の方が汚れが落ちやすい。

今回は久保田氏の主な研究テーマである水の活性化と活性化メカニズムの解明、活性水・機能水の評価と評価法及び利用法の開発などについてお聞きした。

水の分類

海水↓河川水(または地下水)↓
工業用水(水道水または地下水)
↓飲料水↓純水↓超純水↓超々純水↓理論純水

活性水・機能水

活性水や機能水とは主として物

理化学的な方法で水を処理することにより、たとえば優れた殺菌力とか、洗浄能とか、成長促進作用その他の活性や機能を付与した水、またはこの種の高い活性や機能をもった水を総称した意味で用いられている。しかし、厳密には機能のない水はないと考えられることから、このような水を表現するには、活性水のほうがより適しているのではないかと思われる。ただし、現状ではほぼ同義語として用いられている。一般に、活性水にしろ機能水にしろ、元はふつうの水であり、時間の経過とともにまた元の水に戻る性質がある。

水の活性化法・機能化法

1. 電気処理法
2. 磁気処理法
3. 電磁波処理法
4. 金属処理法
5. 機械処理法
6. 音波・超音波処理法
7. ガス溶解法
8. 脱気法
9. ミネラル添加法
10. 大然石・セラミックス処理法
11. 情報転写法
12. その他

水の活性化・機能化とは常温で熱エネルギーでは起こり得ない水の変化や水が関わる反応を熱エネルギー以外のエネルギーを利用して起こすことであり、それにより生成・獲得した各種の活性や機能を持った水を活性水・機能水という。



活性水の用途

分類と用途

●農業 ①発芽と成長促進②冷害干ばつなどの耐候性の増大③農産物の味覚、品質改善④収穫⑤鮮度保持⑥農薬の使用量低減

●水産業 ①養殖漁業の歩留まり向上②病気の解消と肉質改善③成長促進④鮮度保持

●酪農、養豚、養鶏業 ①乳牛の病気の解消、健康保持②品質改善と搾乳量の増加③病気の解消と肉質の改善④鮮度保持⑤成長促進

●食品産業 ①加工食品の味と品質の改善②醸造発酵期間の短縮と品質改善③生鮮食品の鮮度保持

●一般産業 ①洗浄効果増大による洗剤使用量の低減②ボイラー、熱交換器、温水器のスケール防止

③フロン、エタンの代替
●半導体産業 ①ウエハー洗浄②RCA洗浄の代替

●医療産業 ①止血剤②創傷治療剤③殺菌・消毒剤④生活習慣病の予防と治療

●健康産業 ①体力増進②免疫力向上

●化粧品産業 ①化粧水②化粧品製造用水

●水処理 ①殺菌効果による殺菌剤使用量の低減②家庭排水、産業排水の浄化作用促進③ビル、マンションの給水管のスケール防止や赤水防止④水道水のカビ、藻等による臭気の除去⑤プール水の殺菌処理と浄化、水質改善

●その他 ①家庭やオフィスの洗剤代替②洗車

アルカリイオン水の特徴

1. 医療効果：消化不良、胃酸過多、慢性下痢、胃腸内異常発酵に効果がある。

2. アルカリイオン水の性質・特徴

①豊潤作用 材料を柔らかくし、水分や味がよく浸透する。

②溶解力 材料の持ち味(味、香り)を引き出す。

③熱伝導 熱伝導がよいので調理時間の短縮になる。

酸性イオン水の特徴

1. 美容効果：アストリンゼントとして、美容・美顔効果がある。

2. 酸性イオン水の性質・特徴

①収斂作用 素材を引き締める働き。(でんぷんなどの凝固時間に影響)

②洗浄力 生鮮食品や台所の洗浄などに利用。

③殺菌作用 フキンやまな板の漂白、殺菌に利用。

水利用の歴史

第一段階 生命維持のための飲み

水：料理用の水など↓水そのままでの利用

第二段階 農業用など食料生産用の水↓水そのままの利用

第三段階 18世紀後半から始まった産業革命以降の工業用の水↓水の相変化の利用が中心

第四段階 20世紀後半から始まった半導体製造工程の洗浄用などに多用されている高純度水↓水中の溶解成分や分散成分や脱塩や脱ガスが中心

第五段階 活性水・機能水など化学薬品の働きをする水↓主として熱エネルギー以外のエネルギーの利用による水の活性化処理

第六段階 今世紀に期待される水素エネルギー源としての水↓水から低コストで水素を取り出す技術および酸素と水素の混合ガスの安定保存技術

水がクラスター構造をとっていると考えられる根拠

1. 水の18という分子量から推測される融点・沸点に比べ、実際の融点・沸点が非常に高い。

2. 赤外吸収スペクトルがブロードである。

3. HプラスイオンとOHマイナスイオンのモル伝導率が他のイオンに比べはるかに大きい。

4. 融解熱に比べ蒸発熱の方がはるかに大きい。
5. マススペクトルの測定結果から沢山のクラスターが検出されている。
6. コンピューターシミュレーションの結果から。
7. その他

水素水と放射能・放射能と水素水

我々が放射線を恐れるのは放射線、特に一番関わりのあるγ線を浴びると体内の水がγ線により分解し強力な活性酸素であるヒドロキシラジカル(OH)を生成し、このヒドロキシラジカルの酸化力により正常細胞が酸化されたり、遺伝子が酸化されたりするとがん発生の原因になったりする。

2007年東京医科大学の太田成男教授により水素がヒドロキシラジカルを直接たたき安定な水にしてくれることが明らかにになり一躍水素が注目されるようになった。

したがって水素水の飲用は放射能の影響を減らすという点で意味のあることであると考えられる。

水研究の必要性と重要性

1. 新しい水の概念に立てば水は正にこれからである。新しい水の概念で重要なことの一つは水の構造とその変化である。
2. 水の研究を進めていけば今良く分らないことがかなりはつきりしてくる

例えば

- イ. 桜はどうして春に咲くのか？
- ロ. がん細胞は42℃でまいつてしまうという。何故か？
- ハ. 心配事があるとどうして食欲がなくなるのか？
- ニ. ストレスが活性酸素の大きな発生源の一つであると言われているがどうしてか？ そのメカニズムは全く説明されないで平気で使われている。
- ホ. 生きていれば容易に腐敗はしない。しかしどうして死と同時に腐敗が始まるのか？
- ヘ. 記憶には脳内の水が関わっているという。さらに我々の意識までもが・・・
- ト. キセノン(Xe)は不活性ガスであり他のものとは反応しない。それにも関わらず笑気ガス(N₂O)と同様な麻酔効果があるという。これまで麻酔剤の作用メカニズムは

脳内の情報伝達物質に作用して麻酔効果をもたらしている

と説明されて来ている。しかしXeの場合はこのような考えでは全く説明出来ない。Xeが脳内の水の構造を変えた結果の効果と考えると無理なく説明できる。

チ. 今話題のテラヘルツ波と水、そして人体との関わりが明らかになる。

リ. 草食動物はかなりの速さで草を食べている。しかし毒草は瞬時に選り分けていると考えられる。そのセンサーは何か？ この能力は親から教わったものでも、また以前に自分で毒草を食べてひどい目に遇い学んだものでもないと思われる。

ヌ. 気功師は手かざしで瞬時に患者の痛みを取ったりする。これは気功師の手から出たある種のエネルギー(気エネルギーなど)が痛み箇所の水に作用した結果ではないかと思われる。

ル. 今の科学では完全に否定されることであるが水研究が進むと水を直接燃料とした経済的な発電機や熱機関などが出てくる可能性が予想される。

☆ ☆

水がクラスターを作っていないければ融点はマイナス100度となるというのは全く意外であったが、メタンと比較すればそのとおりである。このあたりに水の不思議さがあつたこと、そしてこれからも水研究の必要性が大きいことを改めて感じた。

当日の参加者は会員13名、非会員6名、合計19名でした。今回のカセットテープは2000円、御注文は事務局(0797・22・6425)まで

今後の予定

7月21日(土)

重川風天氏「誰でもが幸せになるプラチナの風が吹く」

9月15日(土)

藤川緑氏「真実さえ広まれば世界は今にでも理想郷にできる

―代替医療の現場から―」

※8月はお休みします。

(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)

故 関英男先生のサイ関係(+ α)の主要な御著書(在庫のあるもの)

	定価	送料
加速教育法(1990:加速学園出版部)	2100円	(310円)
加速学習法(1995:加速学園出版部)	2550円	(210円)
サイ科学の全貌(1991:工作舎)	1995円	(210円)
グラビトニックス(2000:加速学園出版部)	1000円	(160円)
念波(1990:加速学園出版部)	800円	(160円)
CD:生命と宇宙[講演録72分](1998:船井メディア)	3000円	(160円)
電気磁気学[加速教育用](1983:加速学園出版部)	1340円	(160円)
謎のオズマ計画 - UFOとの関連 - (1976:USL)	190円	(120円)
FIVE DIMENSIONAL WORLD(1974:英語版)	1000円	(160円)

以下オスカー・マゴッチ著、関英男先生監修

深宇宙探訪記(上)(1991:加速学園出版部)	2500円	(210円)
深宇宙探訪記(中)(1992:加速学園出版部)	1800円	(210円)
深宇宙探訪記(下)(1992:加速学園出版部)	2200円	(210円)
VHSビデオ:オスカー・マゴッチ氏の講演(2h40m)	3000円	(300円)
VHSビデオ:ティモシー・ワイリー氏の講演(2h45m)	3000円	(300円)

※ビデオは日本語逐次通訳付きです。

お問合せ、御注文は先に下記のE-mail、またはFAX宛にお願い致します。

その際、書籍名と送り先の郵便番号、住所、氏名、電話番号もご記入願います。

ご返事で送料を含めた代金やお振り込み方法等のご連絡を致します。

※正式な御注文から2週間以内に発送致します。

※1種類で沢山の部数を御注文の場合は、事前に在庫を下記のE-mailまたはFAX、電話で確認して頂いてから、お願い致します。

※以上の書籍は今後増刷がありませんので、在庫が無くなりましたら、ご容赦願います。

<お問い合わせ>

日本サイ科学会事務局 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506

TEL 047-347-3546 FAX 047-330-4091

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

しが問題であり、制御はあまり検討されていなかった様に思う。他方、広い世界を見渡し、古来から現在までの永い伝承を踏まえて考察するとピラミッド、水晶、コイル、磁石、木炭等がサイ（気）制御に共通した重要部品（装置の部分）であると判断出来る。しかし、これは科学的な実験に基づいている訳ではなく、特種能力者の「カンとヒラメキ」に依るものであるが、広く、永い間にわたって、実用化の為に使用されてきたという実積がある。

(1) 無誘導コイル、ゼロ磁場

無誘導コイルは、ゼロ磁場を造り、スカラ波を発生させることが出来る。2本の絶縁銅線を密着・併置して、たがいに逆方向になる様に交流電流をながすと、誘導磁気は(+) (-) が互いに打ち消し合ってゼロになり、ゼロ磁場が出来る。無誘導コイルがセンサー水、植物（小麦、稲、小松菜）、魚、受精卵（鶏卵）、幼雛、魚、さらに気功師との比較実験、の影響を調べる為に、日本と中国の共同実験が実施された。中国政府所属の人体科学研究院（理事長、張震寰）と、(社)日本科学技術振興協会の「サイエネルギー応用実用化委員会（委員長、佐々木茂美）」が担当する事になった。実験場所は北京の首都師範大学内の実験室。期間は1994年～2004年。

得られた結論の主なものとして、(a) ゼロ磁場には生命の成長を促進する作用(+の気)と、成長を遅延させる作用(-の気)のエネルギーが、統計的な有意性を保ちながら、集積される様子である。(b) 無誘導コイルに通電する時の電流波形、大きさ、周期、オフセット等により、多彩な気が得られる。(c) 気の測定には電気伝導率変化を介する方法が有望である。(d) 装置の設置場所により、効果に差がでる様子である。(e) 実験者効果が存在する様子である（実験者により2～3倍の差がある）。(f) 気は、アンバランスの状態をバランスさせる方向に進行させている、等。

(2) ピラミッド、水晶

エジプトのナイル川沿いのギザの赤茶けた砂台地の上にそびえ立つ「クフ王の墓」と言われる大ピラミッドは、古来から、深い謎に包まれている。約4500年前に構築されたが、その建造の目的が明白では無い。宇宙エネルギーの集積マシンではないだろうか、と言う仮説がある。しかし確実なレポートは無い様子である。そこで、筆者らは、小型模型を造り、自らテストする事にした。公示に従って正確に寸法を定め、アルミパイプで組み立て、斜面の板は付けずに、小型のピラミッドを造り、その頂上に単結晶水晶1個を置き、高さ1/3の位置に、小松菜の種（シャレ内）を置き、底面の一辺を真北（北極星）に合わせ、住宅の一室を実験室にして、比較の為のコントロールを置いて、発芽・生長テストを実施した（1989年）。

結果として、(a) ピラミッド模型内にも、植物の成長を促進させる機能があると考えられる。(b) グリーンエネルギー（1975、ヒルズの説）の位置に、最大の成長促進作用がある。(c) パイレイ部（ヒルズ説）にも促進効果はあるが、大きさは(b)の場合よりも小である。(c) 経過日数の増加につれて効果は増大するが、6～7日程度でほぼ飽和する。

(3) 外気制御装置の応用

無誘導コイルに加えて水晶や磁石を組み合わせて、ドーナツ型磁石の上に置いて、人工外気制御装置を造り、テストした。結果として、無誘導コイル単体の場合よりも、より大きな効果のある結果が得られた（2003、佐々木、苗：Subtle Energy and Energy Medecin, 7-11、pp1-71）。以上、気場やゼロ場に外気が集積し、零点を介して、意識と物質（エネルギー）が相互に作用することがほぼ確かめられた。今後は、人工外気制御装置の無誘導コイルに交流を導入した場合の生体に及ぼす影響などの調査をして、有効性を確かめた後、この種の計画を地球上に応用して、実用化に耐えられる人工外気集積装置を構築し、多くの人達に利用して貰う事が望まれている。

変革を目指すものであるといわれている(以上、1990、パイレイ誌等参照、山田孝男)。

(6) 1939年、ドイツ生まれの心理学者ライヒは、顕微鏡観察により、シャーレ内にオルゴン(コズミック)並びにエネルギー放射を発見した。オルゴン放射は性に関係しており、この世はオルゴン放射に満ちている、という。応用・実用品として、金属と有機物の板を重ねて造るオルゴン箱(オルゴンの集積)、パイプ等を組み合わせて造るクラウドバースター(天候支配機)などを発明し、病氣治療などに使用した。その他。

3) 念力(PK)の発生と伝播

意識(人体)と体外にある物質の間で、直接に、相互作用が生じたと判断される現象を念力(PK)と言う。つまり、サイ(気)を介して、心と物が相互に作用しあう現象が念力(PK)である。筆者らのメタル・ベンディングの実験から、念力(PK)の発生・生起条件が発見された。この条件が、応用・実用化の基礎として、役立つことになる。ここでは、一般化して平易に説明する。

ある現象(変化)を徐々に進めてゆくと、遂には、今までとは別の変化・現象が生起する(現れる)ことになる。この生起点(変曲点、不安定点)は、念力(PK)現象が発生しやすい状態である事が判った。そこに、同事に、零意識(変性意識状態)下で、「気」を断続的に放射する。すると、PKが生起してくる。これは、二つの要素をぶつけて、その尖端に相殺零をつくり、この零を次第に積み重ねて不安定状態とし、そこに「気」を重ねた事を意味している。つまりエネルギー一定条件でPKが発生する事がわかった。なお検討によると、生起点は複雑系科学のカオス開始点(乱流の分岐点)にはほぼ一致しており、PKの進行・伝播は、カオス・アトラクタ(混沌、軌跡)の進行・伝播と密接に関係していることが分かった。

4) 気場(パワースポット)との交流

応用・実用化を支えるものに気場に潜在し

ているエネルギーがある。つまり、気場で実験すると、未知現象が起こりやすくなる事が判ってきた。元気や癒しが得られる気場(パワースポット)には、サイ(気)のエネルギーが潜在していると判断出来る。気場において、人工気場と意識の相互作用を確かめる為に、伊那市・長谷の入野谷の瞑想室でCCI社製のBACSを用いて実験・調査した。瞑想室には、人工外気集積用にセットされた水晶、無誘導コイル、磁石が、瞑想室内の天井のピラミッドの頂点に設置してある。ただし、現在のところ、太陽電池から送られてくる直流を無誘導コイルに導入しているの、スカラー波は発生していない。しかし、ゼロ磁場は存在する構造になっている。

生体測定用のBACSとは、伝統医学(漢方)が実施している感覚・触覚としての脈診を、指尖部の脈波で代行し、赤外線センサーを用いて定量的に脈診を行い、体内の気をカオス解析するもので、生体系の活性度チェック、カオス解析計のことである(苗鉄軍、開発)。観測結果によると、「物質側(人工気場)」に潜在するサイ(気)の作用を受けて、生体「意識側」の毛細血管の弾力性は減少して硬化し、同時に、カオスアトラクタはパワーを増して拡大し、カオス・アトラクタのパターンが変化(今までとは別種になる)させられる。この時、フラクタル次元D2は1.50から1.12の範囲内で減少している。D2はカオスアトラクタに関与する変数の意味をもっている。つまり、気場の影響により、体内の気血の流動(気の流れ)状況が変化している。これらが進行して、遂には、意識と気場との間でサイ情報(気)の交換が行われるのであろう、と推定出来る。

5) 人工外気制御装置

サイ(気)は、濃さの相違はあるが、地球上のあらゆる所に存在していて、様々な条件に従って、流動している、と考える。応用・実用化の為には、サイ(気)の制御をどのような方法で行うかが、問われている。従来のサイ(気)の研究は、念力現象(PK、未知現象)の有り無



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

サイ(気)の応用と実用化

佐々木 茂美

1) はしがき

「物の科学」と「心の信仰」を結びつけるのは、「サイ(気)」であり、サイ(気)を研究するのがサイ科学の役割であり、義務でもある、と考えている。残念ながら、現在のところ、サイ(気)の実体が不明なので、研究は遅々として進まない。しかしサイ(気)の測定は、様々な立場から進められており(前号参照)、その性質もある程度は判ってきたので、並行して、是非取り組まなければならないのは、サイ(気)の制御と応用・実用化である。

この種の問題については、従来は、伝統医学(漢方医)による脈診や、未知を占う易経師や風水師(特殊能力者)等による「カンやヒラメキ」に頼る場合が多かった様に思う。本稿では、科学的・定量的に実施する場合について検討することにした。

2) 欧米等で開発された機器類

特種能力者並びに発明者等の「カンとヒラメキ」を基にして、多数の機器が開発され、使用されている。例えば、(1) マルチウェーブオシレーター(多波振動子)。1930年代にラコフスキーによって発明されたもので、テスラコイル等を用いて、宇宙からやって来る振動エネルギー等を取り込み、健康や治療に役立てる。(2) ラジオニクス。米国、エイブラムスの発明

で、電気回路等を使用して、物質が発する波動に影響を与える事により、治療効果や農作物の生長、害虫駆除につかう。(3) グリットアンテナ。米国内で、アンテナ、コイル、磁石などを用いて、地球表面をとりまくエネルギーグリッドを取り込み、食物増産などに役立てる為に用いている。その他(以上、1996、多胡啓彦、(社)気エネルギー実用化委員会、資料(7)、pp27-43)。

1960年代後半から1980年代にわたって、主に米国では、ベトナム戦争に関連したニューエイジ(サイエンス)運動が活発になり、東洋の神秘主義に関心を持つ若者が増え、各種の、(4) マインドマシン(心の機器)、が製作された。例えば、バイオフィードバック器具、フローテングタンク、頭部電気刺激装置(CES)、視覚聴覚シンクロナイザー、バイブラサウンド等がある。

日本では、スカラー波やゼロ点エネルギーを用いた(5) クリスタルセブン(CR7) やスターコイル等が山田孝男らによって開発され、製作された。CR7について筆者らがテストした(1989、佐々木ら)ところ、右巻き絶縁コイルで伝達されてきたサイ(気)を、左巻き絶縁コイルで受けて流すと、陰の性質が陽の性質に変わる、等の効果のあることが確かめられた。これらは心身の深いリラクゼーションを介して、意識の